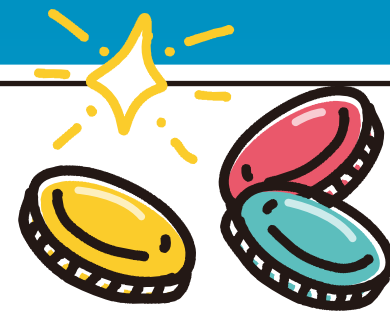


缶バッジ製作・販売の副業を始めるには？



基本がわかるスタートガイド

マシン・パーツ選びから販売方法まで



はじめに

「缶バッジ製作・販売の副業って、気になるけど何から手をつければいいのかわからないー」

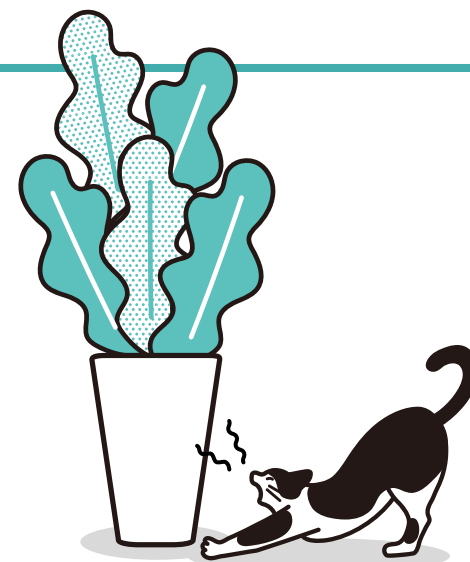
この資料は、そんな「最初の一步」の迷いを解消するためにまとめました。

缶バッジマシン・パーツの専門店として、これまで多くの方からさまざまなご相談をいただきました。

「どのマシンを選べばいい?」「どのサイズが売れやすい?」「いくらで販売すればいい?」——寄せられるリアルな疑問をもとに、最初に押さえておきたい知識をできるだけわかりやすく整理しました。

目次

- P2 はじめに
- P3-4 缶バッジ製作・販売が副業に向いている理由
- P5-6 缶バッジマシン・パーツはどう選ぶ
- P7-8 缶バッジのデザインはどうする?
- P9 缶バッジの作り方は?
- P10-11 販売価格はどう決める?
- P12 どこで売る?代金の受け取り方法は?
- P13 缶バッジの製作・販売のよくある質問(FAQ)
- P14 缶バッジ製作の強い味方
- P15 おわりに



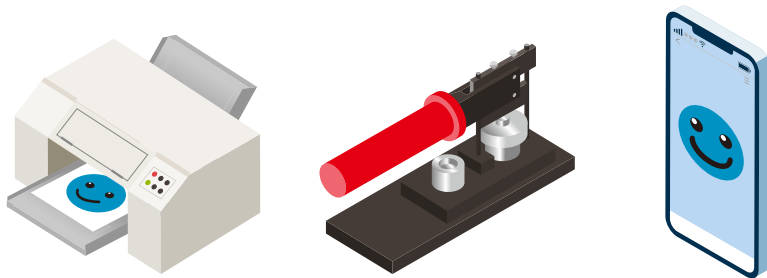
缶バッジ製作・販売が副業に向いている理由

缶バッジ製作・販売が副業に向いている理由は、**始めるためのハードルが低い**ことです。

1. 設備が少なくて済む

缶バッジ製作に最低限必要な設備は、「**缶バッジマシン**」「**インクジェットプリンター**」、そして普段使っている「**スマートフォン**」。材料となるパーツは必要な分だけ購入できるので、大規模な初期費用をかけなくても始められます。

💡 初期費用を抑えて始められるため、もしうまくいかなかった場合でも、大きな損失になりにくくなります。



2. 自宅作業ができる

缶バッジ自体が小さく、マシンもコンパクト。パーツやマシンの保管に、大がかりなスペースは必要ありません。作業中の騒音も少ないため、自宅の一室でも気軽に作業できます。

💡 本業が終わった夜や休日などのスキマ時間を利用して作業ができます。



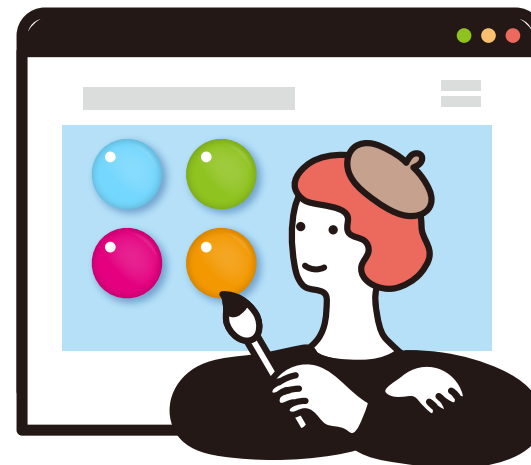
缶バッジ製作・販売が副業に向いている理由

3. Webとの相性が良い

店舗を持つことなく、Web上で販売できます。販売プラットフォームやSNSを活用すれば、告知・受注管理までスマートフォン1台で対応することもできます。



実店舗を構えるコストをかけずに販売が始められます。



大きな設備投資や専用スペースがなくても、

今の生活環境のまま始められるのが缶バッジ製作・販売の魅力です。

とはいえ、「実際に何をを用意すればいいの?」「デザインは自分でできる?」「どこで売ればいいの?」

——最初はわからないことだらけでしょう。

次のページからは、初めての方によくある疑問・不安を1つひとつ丁寧に解説していきます。

缶バッジマシン・パーツはどう選ぶ

マシン・パーツ選びの基本は「缶バッジのサイズ」

缶バッジマシンやパーツにはさまざまな種類があり、最初はどれを選べばいいか迷いがちです。
ここでは、選ぶ順番をステップごとに整理していきます。

STEP 1 作りたい缶バッジのサイズを決める

缶バッジはサイズごとに対応するマシンやパーツが異なるため、まずは作るサイズを決めましょう。
最初から複数サイズにすると、必要な設備やパーツが増え、初期費用や在庫管理の負担も大きくなります。
はじめは1サイズに絞って始めると安心です。

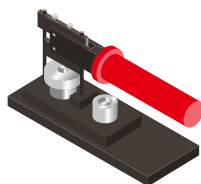


迷ったら **57mm**がおすすめ。イベント物販や推し活グッズで人気の定番サイズです。

STEP 2 マシンを選ぶ

サイズが決まったら、次はマシン選びです。
印刷したデザインとパーツをセットして圧着する缶バッジマシンには、「手動」と「自動（電動）」の2種類があります。

手動缶バッジマシン：レバーを下げて圧着



価格が比較的安く、少量製作から始めたい方向き。サイズごとに別マシンが必要になります。

自動（電動）缶バッジマシン：ボタン操作で自動圧着



手動マシンより価格は高めで、製作数が増えてきたときや、効率を重視したい場合におすすめ。金型交換式モデルなら、1台で複数サイズに対応できます。

マシン選びでは価格だけでなく、安全性・修理対応・サポート体制が整っているメーカーかどうか確認しておくとう安心です。



副業スタート時は、**手動マシン1台**から。軌道に乗ったら、自動マシンや別サイズ対応マシンを検討しましょう。

缶バッジマシン・パーツはどう選ぶ

STEP 3 パーツを選ぶ

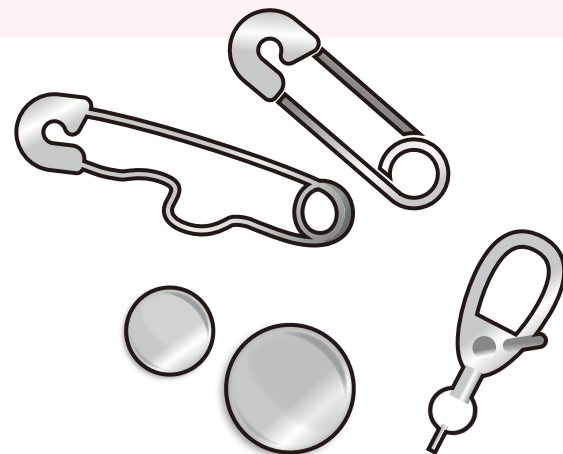
パーツとは、本体（シェル）・透明フィルム・バックパーツなど、缶バッジを構成する材料のこと。初心者の方は必要なパーツが一式そろったセットを選ぶと安心です。特に、ZecurePIN（Z安全ピン）パーツセット、マグネットパーツセット、キーホルダーパーツセットがおすすめです。

最初から大量に仕入れず、売れ行きを見ながら少しずつ調整していきましょう。



購入場所について

缶バッジ専門の通販サイト・ECモールで購入できます。専門の通販サイトは、マシンの修理対応やサポート体制が充実しているほか、パーツを小ロットから注文できるため、副業スタート時でも安心して利用できるのが特徴です。



缶バッジのデザインはどうする？

写真データを受け取って缶バッジにする方法なら、デザインセンス不要

「**デザインを考えるのが難しそう**」と感じる方は多いですが、心配いりません。実は、缶バッジ副業で成功している方の多くが、お客様から写真データを受け取り、それをそのまま缶バッジにするという方法で販売しています。

たとえば、**ペットや子供の写真**。お客様にとっては、**世界にひとつだけのオリジナルグッズ**として喜ばれます。この方法なら特別なデザインスキルは必要ありません。**届いた写真を缶バッジサイズに合わせて配置し、印刷するだけ**です。次のような無料ツールや身近なソフトを活用できます。

ツール	特 徴
Canva (無料)	テンプレート豊富で直観的。 初心者でも簡単に作成可能
Illustrator	正確なレイアウトや印刷データ作成に強く、 本格的な制作に対応
Photoshop	画像加工や補正に優れ、 写真をきれいに仕上げられる



缶バッジのデザインはどうする？

失敗しにくいデザインのコツ

1. 端ギリギリに配置しない

プレス加工で端の部分が折り込まれます。顔や見せたい部分は中央寄りに配置しましょう。

2. できるだけ高解像度のデータをもらう

写真や画像はできるだけ高解像度のデータ（目安は300dpi程度）を使いましょう。通常はスマートフォンで撮影した写真なら十分です。SNSからダウンロードした画像は圧縮されて粗くなるがあるので注意しましょう。

3. 細い線・小さい文字は避ける

写真に文字を添える場合は、大きめを意識しましょう。印刷時につぶれにくく、仕上がりがきれいになります。



本番製作前に1枚だけ印刷してプレスし、仕上がりを実物で確認しておくとう安心です。



缶バッジの作り方は？

基本は「ガチャン・ガチャン」とハンドルを2回下ろすだけ

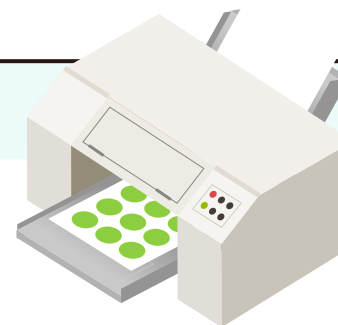
ここでは、手動缶バッジマシンの製作工程を紹介します。

缶バッジの製作工程は、大きく分けると「下準備」と「プレス」の2つです。

● 下準備

デザインをインクジェットプリンターで印刷し、円形にカットします。写真データの印刷には光沢紙がおすすめです。発色が良くなり、仕上がりの印象が変わります。

用紙1枚に複数個まとめて印刷すると、コスト節約になります。



● プレス

下準備ができたら、あとはマシンでプレスするだけ。

- 1回目 シェル・デザイン用紙・フィルムの順にセットしてプレス
- 2回目 バックパーツをセットしてプレス

ハンドルを2回下ろせば、缶バッジの完成です。



フィルムは気泡が入らないよう、丁寧に置きましょう。バックパーツのピンの向き（横向き・縦向き）にも注意しましょう。

詳しい作り方は、動画でご紹介しています。

慣れてくれば1個あたり数分程度で製作できるようになる方が多く、最初の数個を練習するうちにコツがつかめてきます。

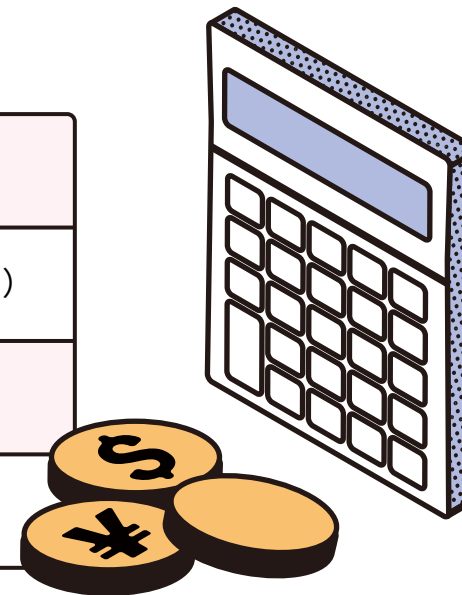


販売価格はどう決める？

まずは1個あたりの原価を知ることから

缶バッジ製作・販売の費用には次のような項目があります。

缶バッジパーツ代	1個あたり数十円～100円程度（サイズ・数量により変動）
印刷費 （インク・用紙）	1個あたり数円～十数円程度（プリンターの機種・用紙により変動）
梱包資材費 （OPP袋・台紙・封筒など）	1個あたり数円～20円程度
配送費	ネコポス・定形外郵便など商品に応じて選択



マシン代について

マシン代は最初の設備投資として、副業スタート時は、上記の「1個あたり費用」とは分けて考えるのがおすすめです。事業が軌道に乗ってきたら、マシン代を販売数に応じて1個あたりの原価に含める考え方もあります。

販売価格はどう決める？

価格を決める3ステップ

STEP 1

原価合計を計算する

上記の項目を足し合わせて、1個あたりの原価を把握します。

**例：パーツ80円+印刷10円
+梱包15円+送料など**

STEP 2

市場調査をする

販売プラットフォームで「オーダーメイド缶バッジ」「写真 缶バッジ」などのキーワードで検索し、カスタマイズ商品の価格帯を確認しましょう。

STEP 3

販売方法ごとのコストを加味して価格を設定する

販売プラットフォームの利用料や決済手数料など、販売にかかるコストも踏まえて価格を設定します。



販売価格は、売れ行きを見ながら柔軟に調整していくこともできます。



どこで売る？代金の受け取り方法は？

初心者はまず販売プラットフォームからスタート

缶バッジの販売場所や方法は、受注・決済の手間も考慮して選ぶとよいでしょう。
主な販売方法を2つご紹介します。

ハンドメイド・グッズ系の販売プラットフォーム (minne / Creema / BASEなど)

すでに購買ユーザーがいるため、自分で集客しなくても始められます。お客様とのやり取りもプラットフォーム上で完結し、**決済や入金管理もプラットフォーム側の仕組みで処理**されるため、自分で決済手段を用意する必要がありません。

SNSを活用した販売 (Instagram / X など)

SNSはフォロワーとの日常的な接点があるため、**制作過程や完成品を投稿することで自然と集客**につながります。SNSで直接注文を受け付け、決済は銀行振込やSquareなどの決済リンクを活用します。



両方の方法を組み合わせると、集客の幅がさらに広がります。



缶バッジの製作・販売のよくある質問（FAQ）

ここでは、これから始める方が気になりやすい疑問にお答えします。

Q 本当に自宅で作業して問題ありませんか？

A. ご自宅で作業していただいて問題ありません。手動マシンは騒音もなく、テーブル1つ分のスペースがあれば十分に始められます。自動マシンは、アース付きコンセントが必要なため、変換アダプターや電気工事が必要になることもあるため、事前に確認しておきましょう。

Q おすすめの梱包・発送方法は？

A. 完成した缶バッジはOPP袋に入れ、台紙に固定すると見栄えがよくなります。封筒に入れる際はプチプチ（緩衝材）で包むと破損防止になります。発送方法は、厚み・重さ・追跡の要否に合わせて選ぶと安心です。追跡が必要な場合は、クリックポストやネコポスなど追跡付きのサービスがおすすめです。

Q 手動缶バッジマシンは、不器用・力に自信がなくても作れますか？

A. はい、心配いりません。手動マシンは特別に強い力を必要としない設計で、多くの女性にご活用いただいています。最初の数個を練習として作ってみると、自然とコツがつかめてきます。また、全国の就労支援施設でも使用されており、安全面でも安心してお使いいただけます。

Q パーツや完成品の保管で気をつけることはありますか？

A. 缶バッジは金属製のため、湿度が高い場所では錆びやすくなります。風通しの良い場所で保管し、ジップ袋や収納ボックスに防錆紙（例：[CORTEC VpCI-146 防錆紙](#)）を入れておくと安心です。また、完成品は1個ずつOPP袋に入れて保管すると、表面の傷を防ぎ、きれいな状態を保てます。

Q 最初にどれくらいのパーツを用意すればいいですか？

A. まずは最小ロット、50個程度から試すのがおすすめです。パーツの販売店によっては大口ロットでしか購入できない場合もあります。小ロットから注文できるかどうかを、購入時に確認しておきましょう。



缶バッジ製作の強い味方

缶バッジマシン・パーツ専門店 バッジマンネット

バッジマンネットは2009年創業の缶バッジマシン・パーツ専門店です。缶バッジ本場のアメリカから輸入した製品から自社開発の製品まで、**高品質な商品を手ごろな価格で提供**しています。

法人のお客様だけでなく、**副業や趣味として缶バッジ製作に取り組む個人の方にも広くご利用**いただいています。実際に、当社の利用者のうち、約4分の1が個人のお客様です。



● 初めての方でも安心な3つの理由

高品質なマシン&購入後の安心サポート

マシンは保証期間付き。シリアルナンバーが付与され、マシンの所有者が変わっても、一貫して**修理・故障履歴を管理**しています。購入後の問い合わせや定期メンテナンスにも対応しています。**マシンの保証期間を過ぎた場合でも有料で修理が可能**で、買い替えるよりも安価に済むケースが多くあります。自動マシンは、電気用品安全法(PSE)の基準をクリアした安全設計です。

安心の保証期間

プロ仕様缶バッジマシン **1年**
自動缶バッジマシン **90日**

パーツは、必要な分だけ・必要なときに注文

主要パーツは常時30~100万個の在庫があり、**小ロットからでも注文OK**。まずは少量から試して、売れてきたら追加注文という使い方ができます。

作り方やノウハウを学べる動画・コラムが充実

サイト上には缶バッジの作り方動画や、製作に役立つコラム・お役立ち資料を無料で公開。AIチャットボットも用意しているため、**24時間365日いつでもどこでも自分のペースで疑問を解決**できます。

お役立ち情報・資料



【スキマ時間を活用】在宅副業13選!
選び方・安全に始めるための注意点



副業で物販を始めるなら缶バッジがおすすめ?
SNS活用した販売の始め方と注意点



美しさは缶バッジの命! 顧客満足度の高い
商品をつくるための印刷・デザインのコツ



良い缶バッジパーツとは?
品質に関わる要素と見分け方を解説

おわりに

缶バッジ副業、「小さく始める」 ことが成功への第一歩

缶バッジ製作・販売は、大がかりな設備や特別な経験がなくても始められる、取り組みやすい副業です。お客様の写真をそのまま缶バッジにする方法なら、デザインスキルも不要。世界にひとつだけのオリジナルグッズとして喜ばれるため、やりがいも感じやすいでしょう。

まずは1個、作ってみるところから始めてみませんか。うまくいかないことがあっても、少しずつ調整しながら進めていけば大丈夫です。

缶バッジマシン・パーツ選びに迷ったら、バッジマンネットにお気軽にご相談ください。サンプル請求や資料請求も常時受け付けています。



お問い合わせ・資料請求・サンプル請求はこちら

お問い合わせ:缶バッジマシン&パーツ専門店 [🔗](#)

資料請求・サンプル請求 [🔗](#)